

Contents

前書き「なぜ今、低体温療法なのか」	田村 正徳	2
-------------------	-------	---

1. プロローグ

この本のねらい	岩田 欧介	8
この本で使われている略語と専門用語	岩田 欧介	9

2. 総論

1) 新生児における低体温療法の歴史	岩田 欧介・岩田 幸子	12
2) HIEの病態生理と低体温による脳保護のメカニズム	鍋谷まこと	16
3) 低体温に対する生理的反応と合併症	岩田 幸子	18

3. マニュアルー基本編

1) 現在の臨床エビデンスとガイドライン	武内 俊樹	24
2) 低体温療法を施行する施設の条件	武内 俊樹	26
3) 低体温療法の適応基準と除外基準 基本編 1 —新生児HIEの診断の基本	武内 俊樹	28
4) 低体温療法の適応基準と除外基準 基本編 2 —適応基準の基本的な考え方	武内 俊樹	30
5) 低体温療法の適応基準と除外基準 実践編 —2010 CoSTRに基づく適応基準	武内 俊樹	32
6) aEEGと標準脳波 基本編	武内 俊樹	38
7) aEEGと標準脳波 応用編 —低体温療法の適応基準としてのaEEG	武内 俊樹	42
8) 低体温療法施行中のモニタリング	岩田 幸子	48
9) 低体温療法の導入と維持—全身冷却と選択的頭部冷却の特徴	岩田 幸子	54
10) 低体温療法導入の実際—選択的頭部冷却の場合	武内 俊樹	58
11) 低体温療法導入の実際—全身冷却の場合	岩田 欧介	62
12) 冷却維持期のモニタリングと検査	岩田 欧介	68
13) 低体温療法中の内科管理—併用薬物療法	岩田 欧介	72
14) 低体温療法中の内科管理—呼吸循環管理	岩田 欧介	76
15) 低体温療法中の内科管理—輸液・電解質管理	鍋谷まこと	82
16) 低体温療法中の内科管理—その他	鍋谷まこと	84
17) 復温方法の実際	鍋谷まこと	86
18) 画像検査	岩田 幸子	88
19) HIE児のフォローアップ	鍋谷まこと	94

4. マニュアル—実例編

1) 北米 コーネル大学 ニューヨークプレスビテリアン病院の場合	武内 俊樹	98
2) 英国 ロンドン大学UCL校周産期病院の場合	岩田 欧介・岩田 幸子	102
3) 日本 淀川キリスト教病院の場合	鍋谷まこと	108

5. まとめ

1) わが国における問題点と今後の展望	鍋谷まこと	112
2) より効果的な低体温療法を求めて—今後の動向	武内 俊樹	114
3) 導入基準やプロトコル変更の手順	岩田 欧介・岩田 幸子	118
4) 低体温療法をめぐる倫理的課題	田村 正徳	124

付録

1 日本版ガイドライン骨子	武内 俊樹	128
2 エントリー基準フローチャート	武内 俊樹	133
3 バイタルサインチェック用紙	鍋谷まこと	134
4 レジストリー チェックシート	鍋谷まこと	136

Column

2人の“新生児体温管理の父”—1950年代の論争の行方	15
低体温による代謝抑制のご利益	20
なぜ、5分ではなく10分アプガースコアでなければならないのか？	37
冷却中の脳機能モニターとしてのaEEG—睡眠周期が意味するもの	46
直腸か食道か？—新生児の標準深部体温	52
革新的モニタリングは誰のため？	53
どれだけ早く冷やせるか？—院内編	61
1秒でも早い冷却を目指して—プレホスピタルクーリングの挑戦	67
なぜ動物で効く脳保護治療薬が、ことごとく臨床では効かないのか？	74
GABA作動薬の神秘？	75
血液ガスの体温補正—なぜ α -statではなく、pH-statなのか？	80
人工呼吸器の加温加湿設定—メーカーはそのままでよいと言っているけれど？	81
発達評価スケールの選択—新版K式か、Bayley式か？	85
¹ H MRSを身近に	92
低体温療法は何処へ？—黄金の羅針盤を求めて	123